

つながってみよう 清須のおいしい物語

清須食育プラン2024

—第3次清須市食育推進計画—

令和2年度～令和6年度



清 須 市

目 次

第1章 計画策定の背景・位置づけ	
1 計画策定の背景	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	2
第2章 アンケート結果から見える現状と課題	
1 アンケートの概要	3
2 アンケート結果	4
3 寄せられた保護者のご意見	15
4 検証と課題	17
第3章 計画の基本的な考え方	
1 基本理念	23
2 計画のめざす姿	23
3 取り組みの柱と基本施策	24
第4章 目標指標	
1 市民全体	25
2 小学生	26
3 中学生	27
第5章 食育推進に関する取り組み	
1 食をとおして心身の健康づくりをすすめる取り組み	28
2 食をとおして感謝の心を育む取り組み	29
3 食をとおして地域づくりをすすめる取り組み	30
4 食をとおして適切な情報の活用の輪を広げる取り組み	30
第6章 清須市食育推進の環	32

第1章 計画策定の背景・位置づけ

1 計画策定の背景

食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることであり、生きる上での基本であって、教育の三本柱である知育、徳育及び体育の基礎となるべきものとして位置づけられています。

国は、「国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育む」ことを目的に、平成17年6月に「食育基本法」を制定し、愛知県においても食育基本法の理念にのっとり、「県民の健康で文化的な生活と豊かで活力ある社会の実現」を食育の方向とする「あいち食育いきいきプラン（愛知県食育推進計画）」を平成18年11月に策定し、それぞれの計画に基づき、食育を総合的かつ計画的に推進してきました。

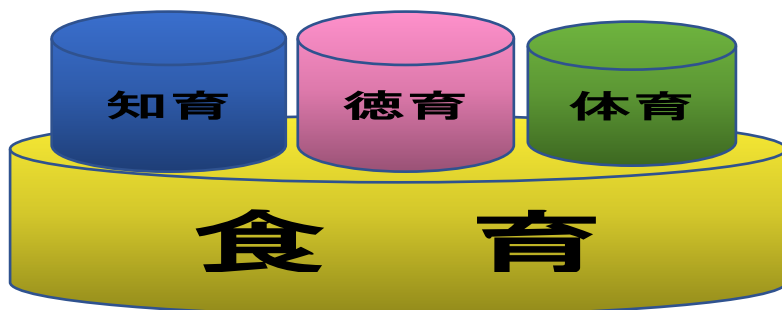
令和元年10月には「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、今後は食の循環や環境を意識した取り組みなども求められます。

清須市においても、平成21年3月に「清須市食育推進計画」、平成26年3月には、「第2次清須市食育推進計画」を策定し、「やってみよう清須のおいしい物語」をスローガンに、食育関係団体と協働で「食育まつり」、「食育レポート」、「食育推進事業」等各種食育事業を継続して実施してきました。

その結果、市民の方々の食育についての関心は高まり、バランスのとれた食事をとっている人の割合が増え、食育という言葉の認知度も上がりました。

しかしながら、依然として食の安全性の問題、食に関する情報の氾濫、食品ロスなど、食にまつわる様々な課題が山積しており、より一層の食育による対応が求められています。

こうしたことから、今後も清須市における食育を更に推進していくため、清須市食育推進計画（第2次計画）を評価、検証して基本理念や成果を継承した、「第3次清須市食育推進計画」を策定しました。



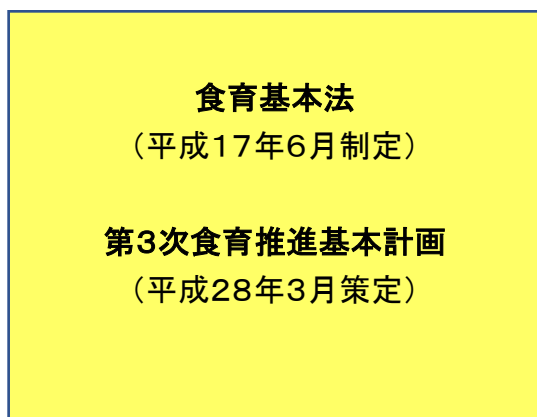
2 計画の位置づけ

本計画は、食育基本法の目的・基本理念を踏まえ、同法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画として位置づけます。

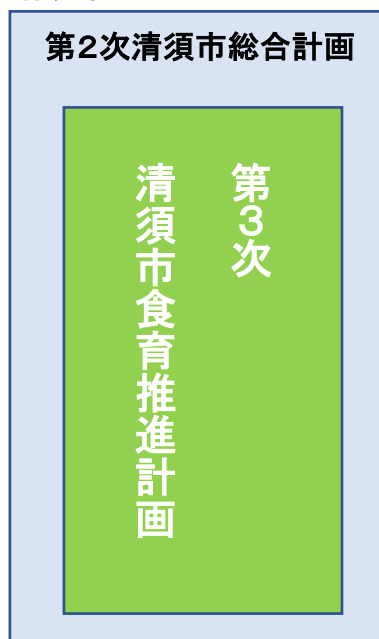
清須市として、食育に関する基本的な考え方を示し、具体的な取り組みや指標を掲げて、関係施策を総合的かつ計画的に推進していくために必要な事項を定め、行政はもとより、市民、それを取り巻く地域、団体等がそれぞれ役割に応じて連携協議して食育に取り組んでいくための基本とします。

なお、国の定める「第3次食育推進基本計画」や、愛知県の定める「あいち食育いきいきプラン2020」をはじめ、「第2次清須市総合計画」などの市の上位計画・関連計画との整合性を図りながら食育に関する取り組みを実施していくものとします。

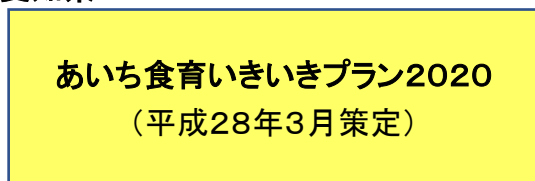
国



食育基本法第18条第1項
清須市



愛知県



3 計画の期間

本計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とし、計画期間中に状況の変化等が生じた場合には、必要に応じて見直すこととします。

令和2年度 ～ 令和6年度

第2章 アンケート結果から見える現状と課題

1 アンケートの概要

第3次食育推進計画を策定するにあたり、市民の食育に関する意識について、前回調査（平成25年度）からどのように変わったかを把握するため、下記のとおり「食育に関するアンケート」を実施しました。

(1) 調査対象者

- ①市内保育園・幼稚園児の保護者及び小学校5年生、中学2年生の保護者
- ②小学5年生
- ③中学2年生

(2) 対象者

- ①保護者 2,802名

内訳

幼稚園	保育園	小学5年生	中学2年生
142名	1,499名	587名	574名

- ②小学5年生 597名
- ③中学2年生 581名

(3) 調査期間

平成30年6月5日(火)～平成30年6月29日(金)

(4) 調査方法

園、学校を通じた配布・回収

(5) 回収数

3,631名(回収率 91.2%)

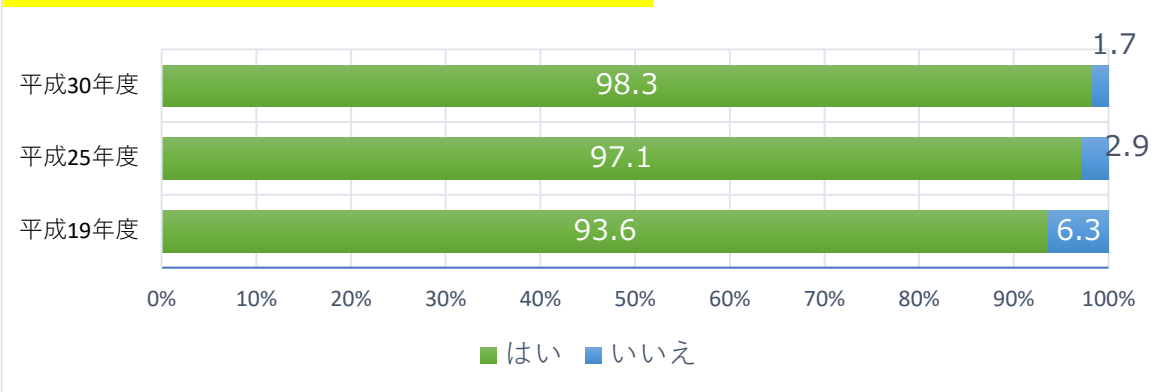
(6) 結果等の見方

回答結果の単位「%」は、有効サンプル数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しました。無回答、複数回答はそのまま集計したため、合計値が100.0%にならない場合があります。

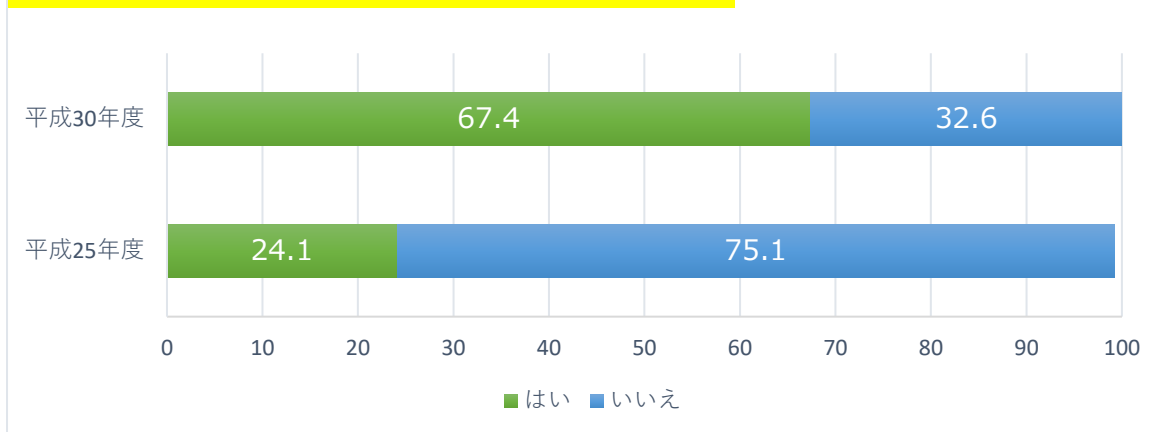
2 アンケートの結果

保護者 日常の食生活についての意識

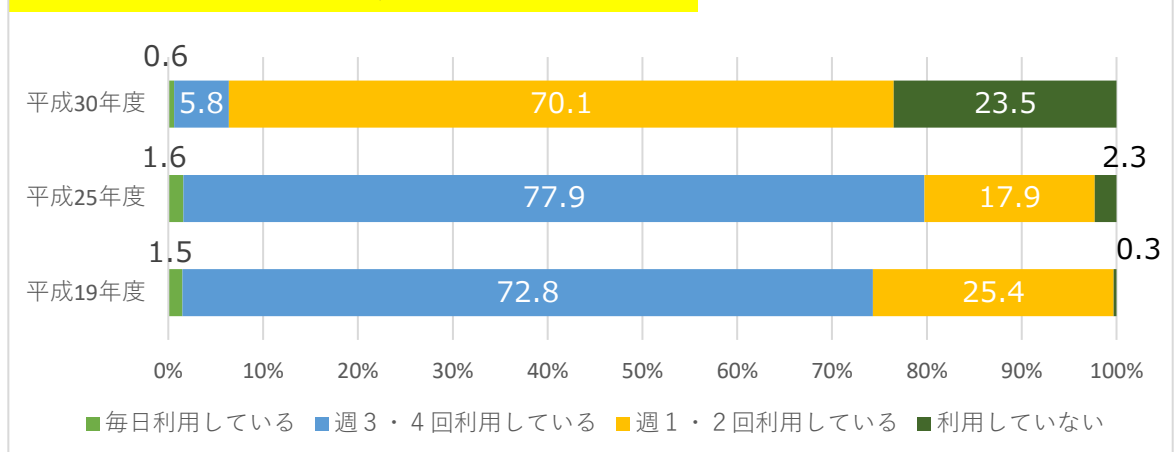
① 食育ということばを知っていますか？



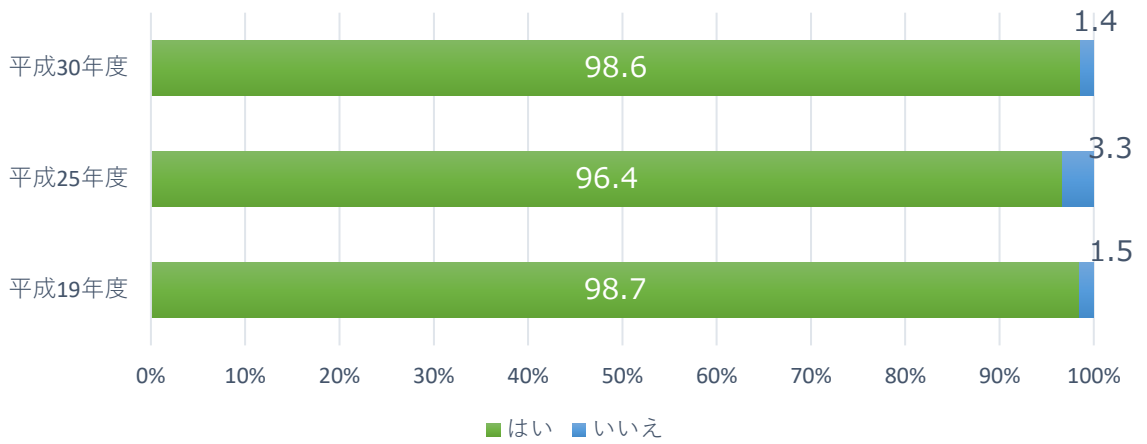
② バランスのとれた食事をとっていますか？



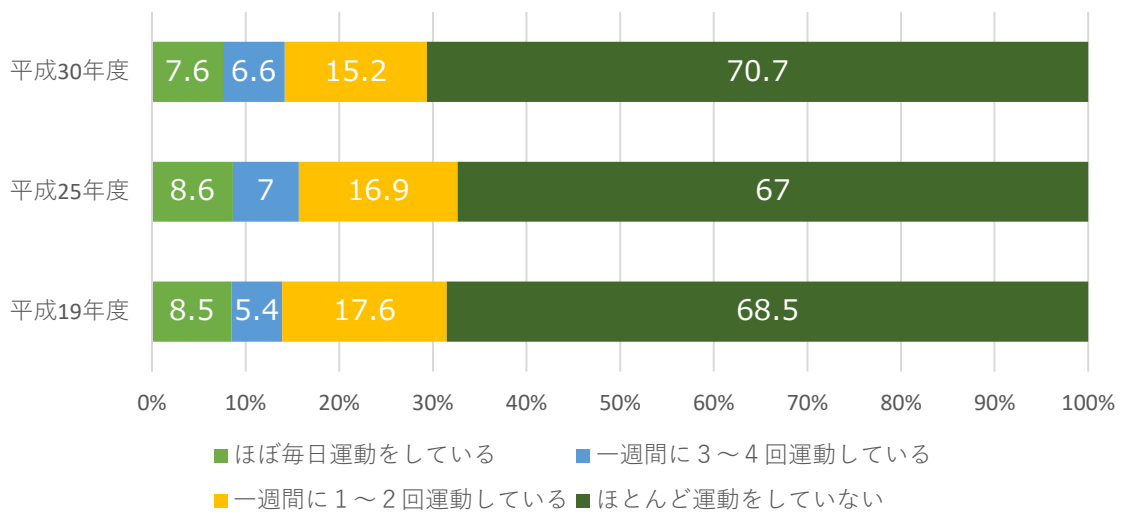
③ 中食(スーパーの惣菜、弁当)や外食を利用しますか？



④ 「内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)」ということばを聞いたことがありますか？

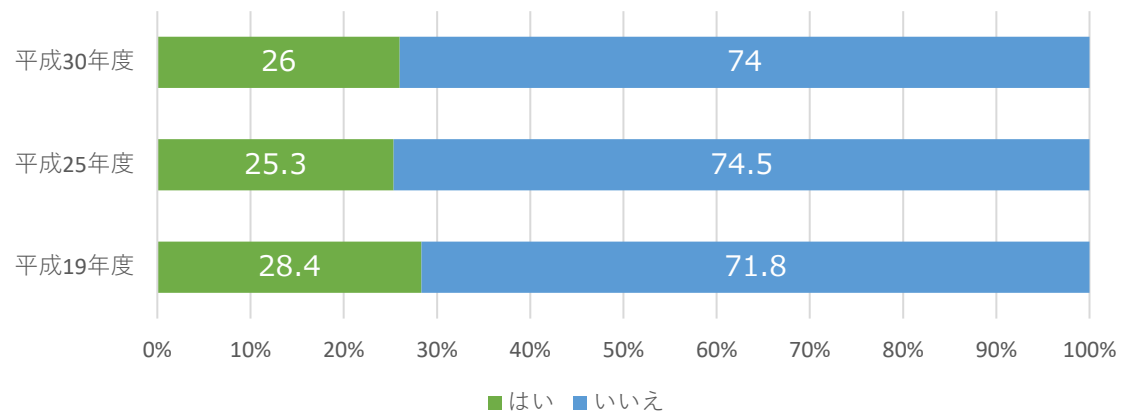


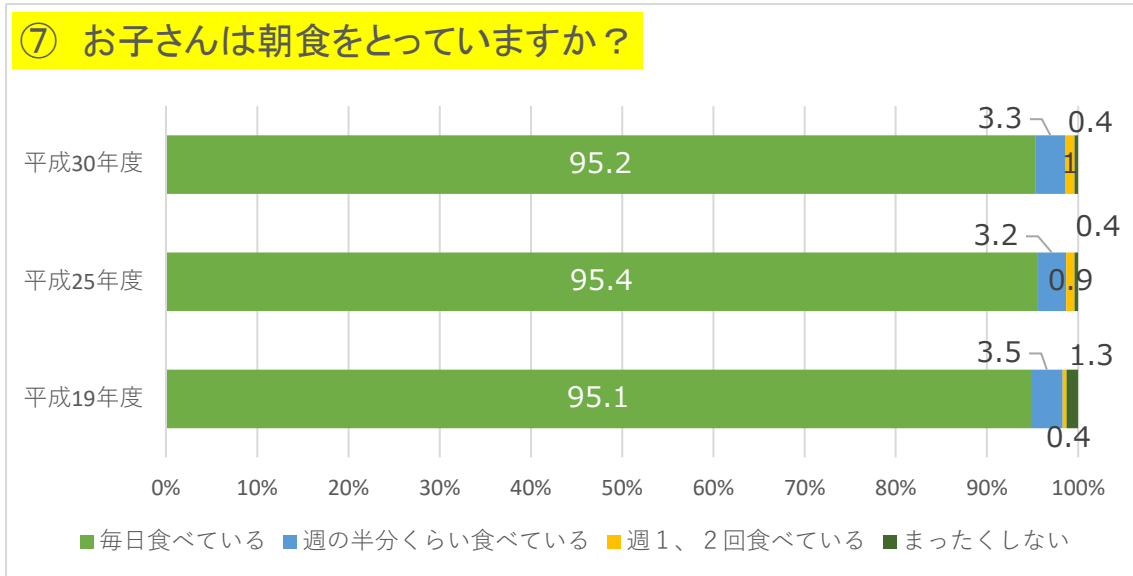
⑤ 定期的に運動をしていますか？



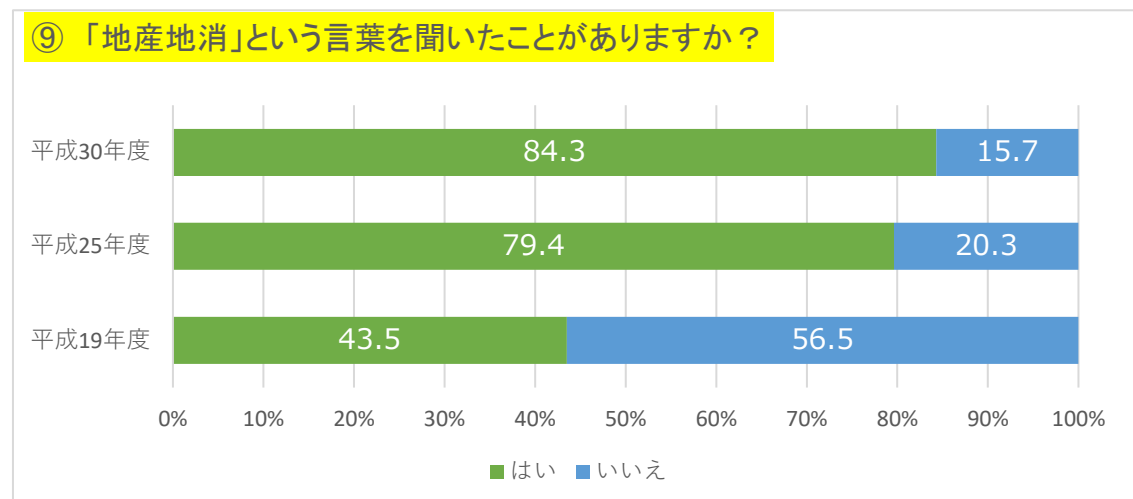
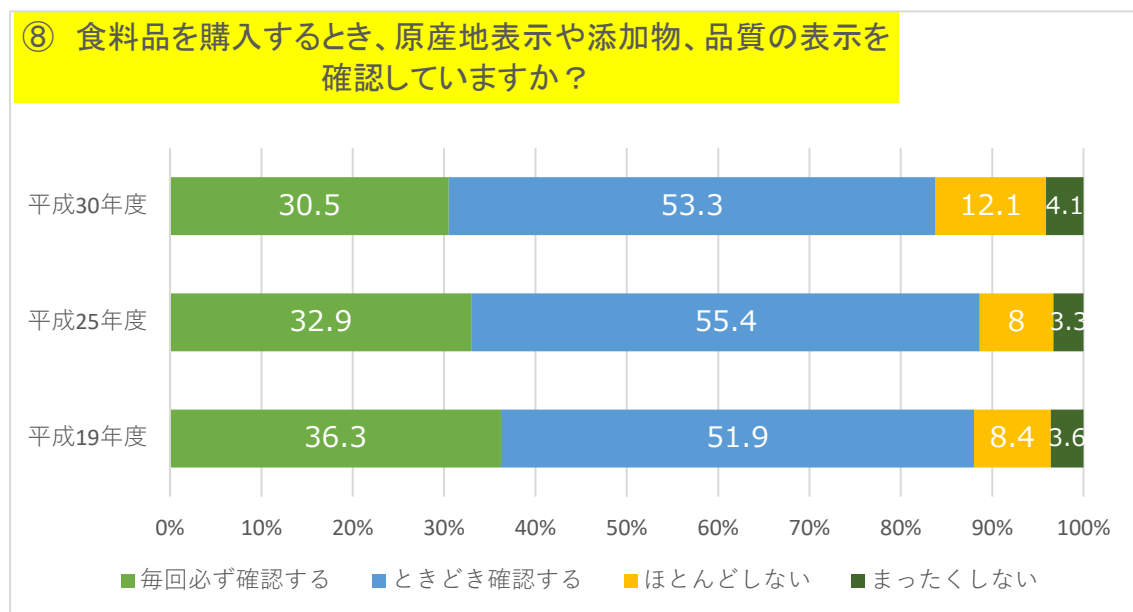
保護者 家族の朝食の現状

⑥ 家族の中で朝食をとっていない人はいますか？

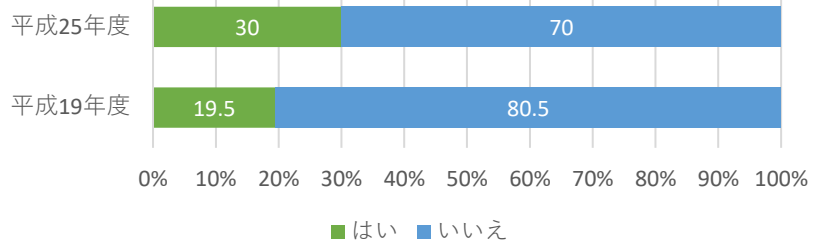
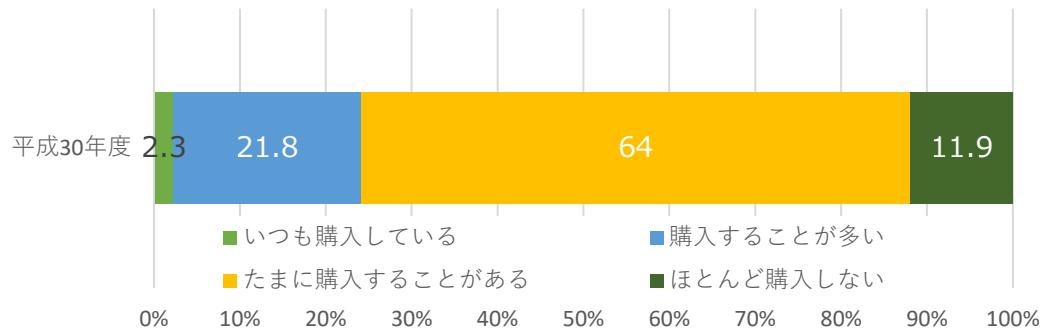




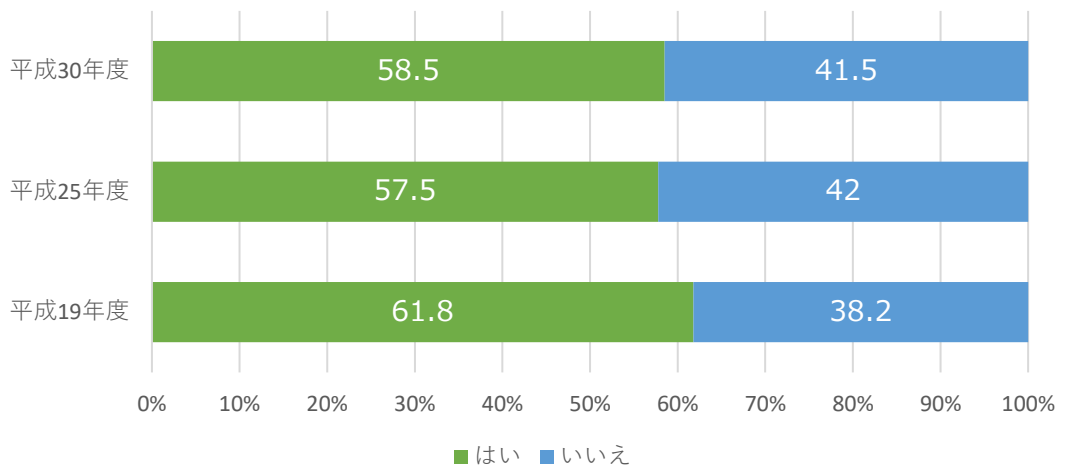
保護者 地産地消に関する意識・行動



⑩ 愛知県の農産物を選んで購入していますか？

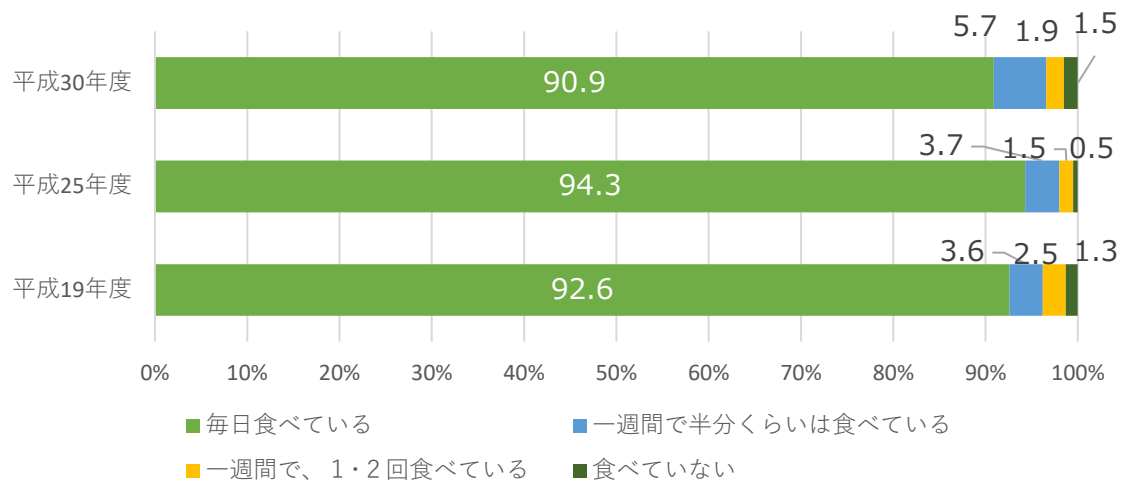


⑪ お子さんに田植えや稲刈り、いも堀り等の農作物の体験をさせたことがありますか？

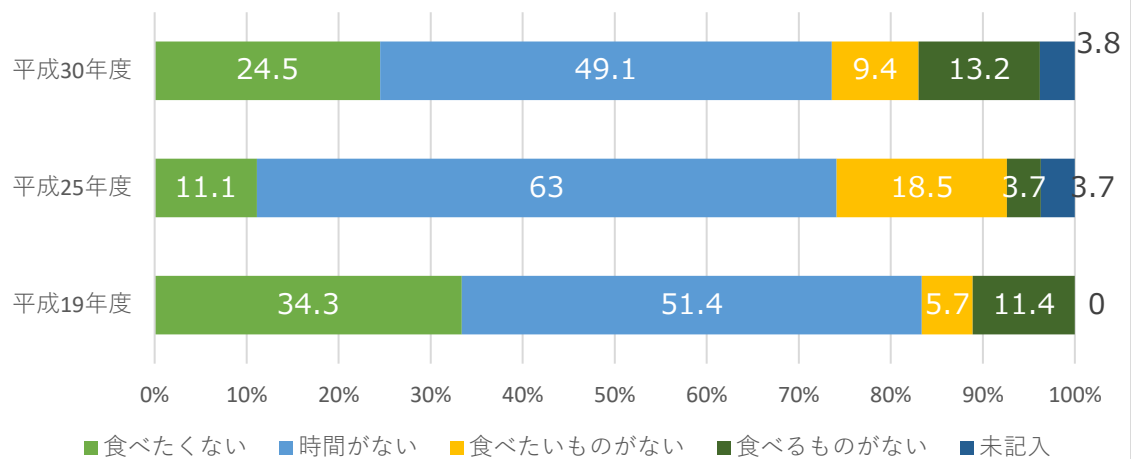


小学5年生 朝食・共食の現状・意識

① 朝食をとっていますか？

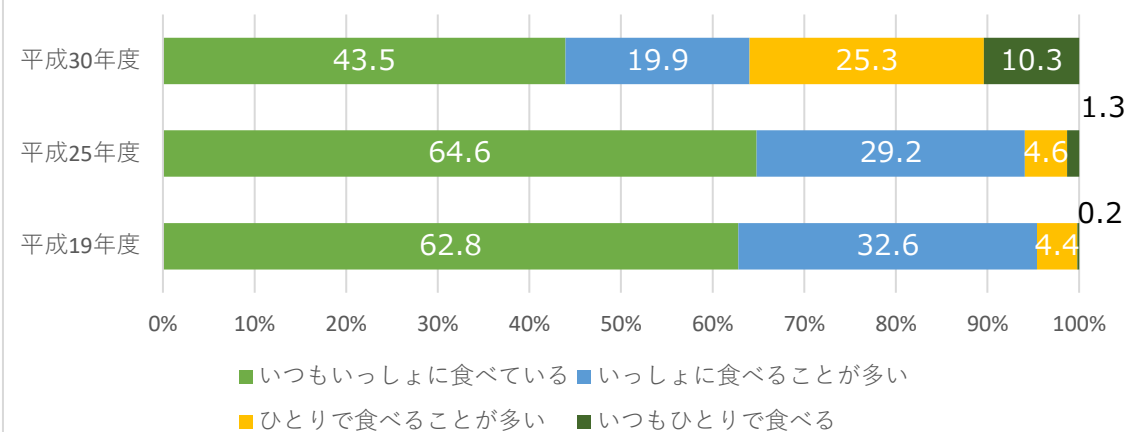


② 朝食をとらない理由は何ですか？

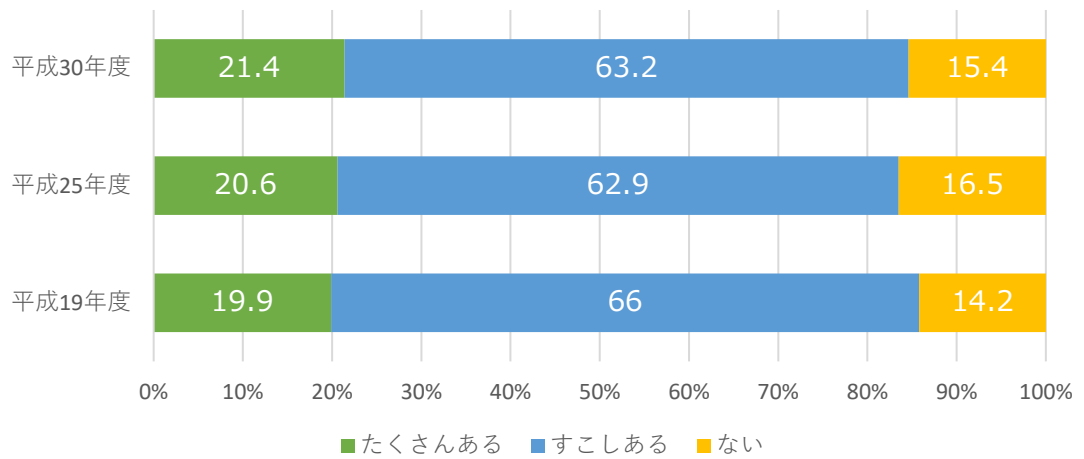


③ 家族の人と一緒に朝食をとっていますか？

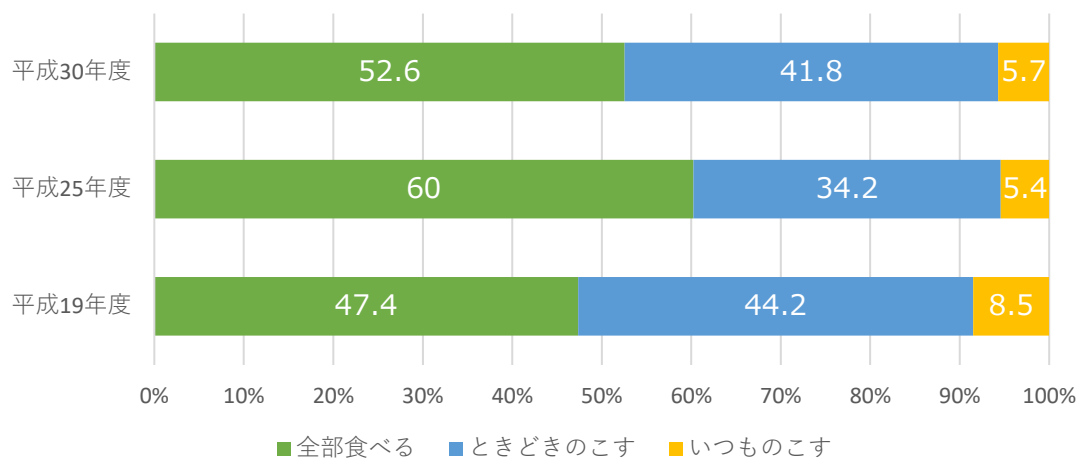
(平成19・25年度は家族の人と一緒に食事をとっていますか)



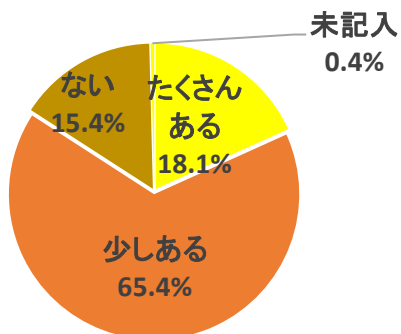
④ きらいな食べ物がありますか？



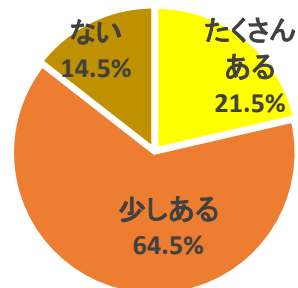
⑤ 給食は全部食べますか？



「共食の頻度」と「好き嫌い」との関係 「きらいな食べ物がありますか？」

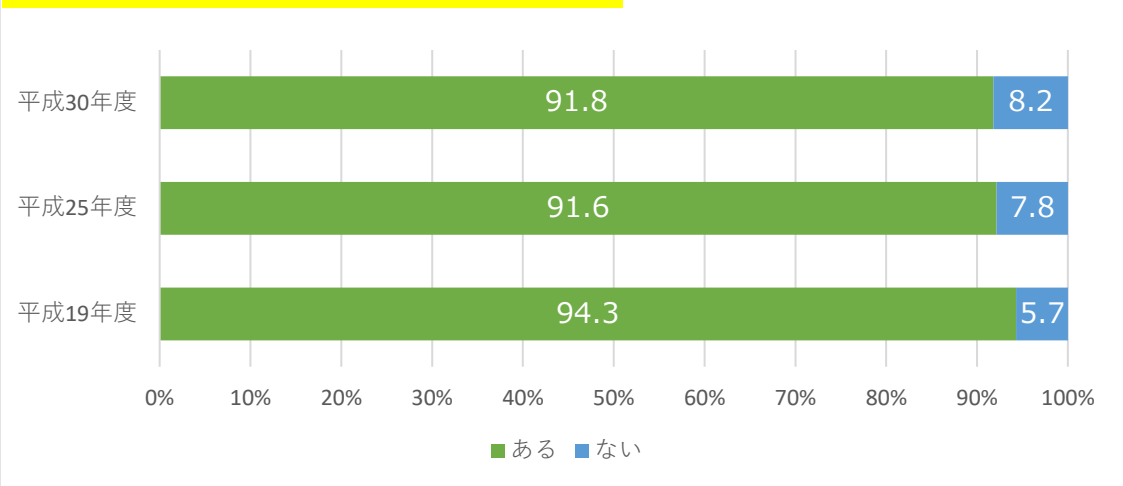


いつも誰かと一緒に食べている群(43.5%)

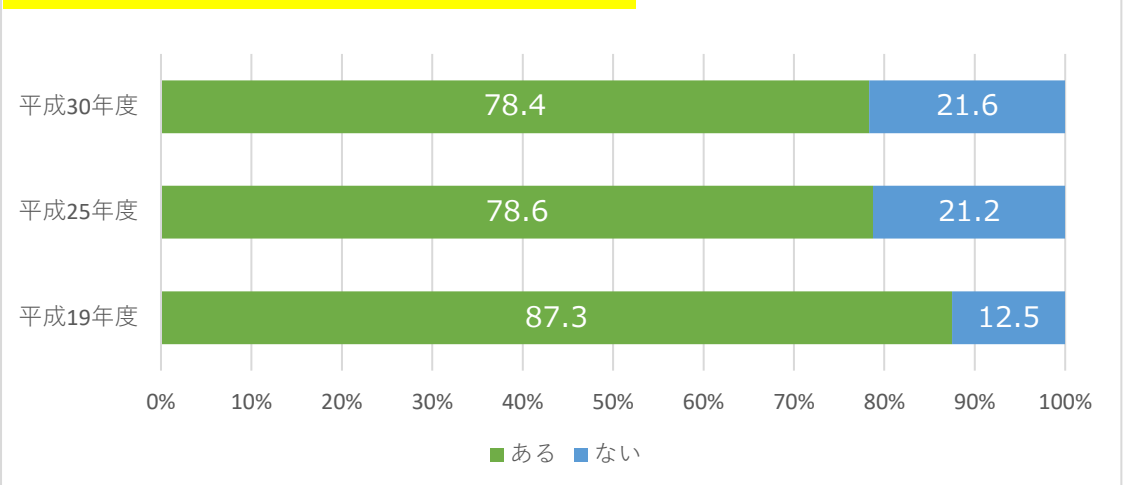


その他の群(56.5%)

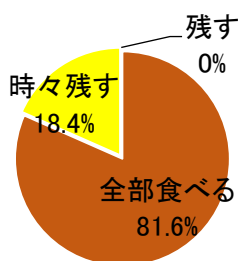
⑥ 畑や田んぼで野菜や稲が育っているのを見たことがありますか？



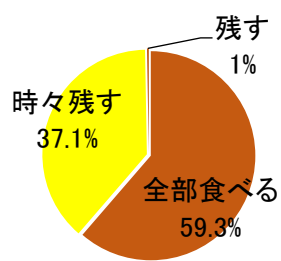
⑦ 田植えや稲刈り、いも堀りなどの農作業の経験がありますか？



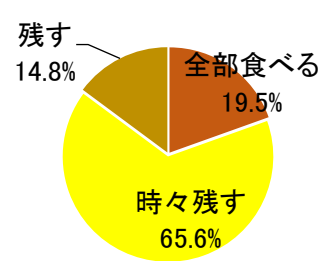
「好き嫌い」と「給食摂取状況」との関係 「給食は全部食べますか？」



きれいな食べ物がない群(15.4%)



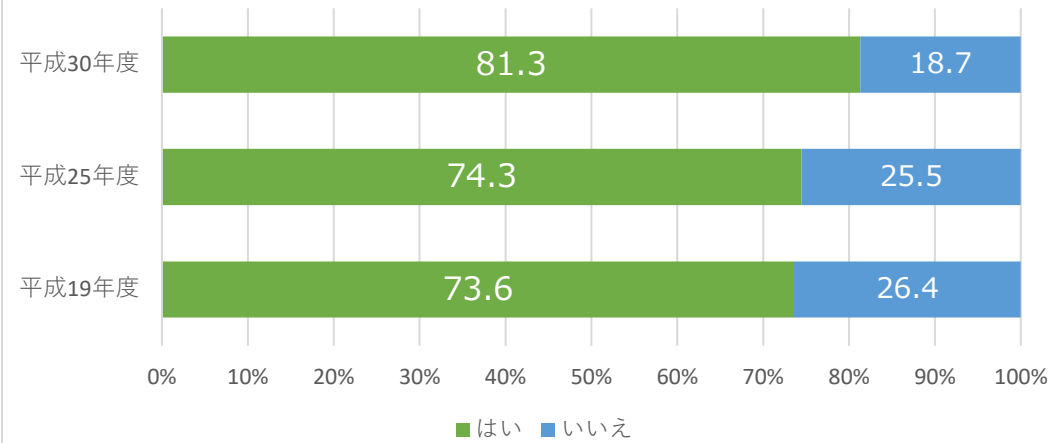
嫌いな食べ物がある群(63.2%)



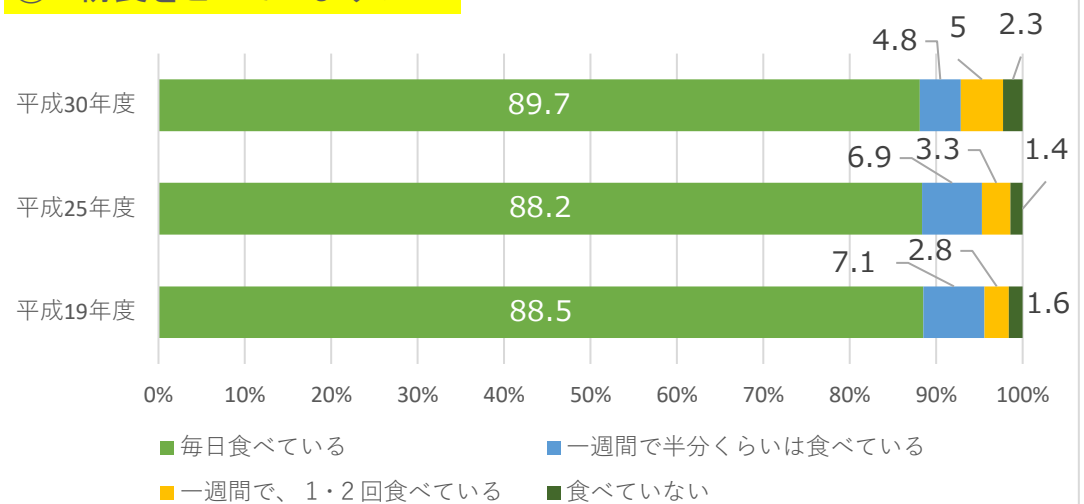
きれいな食べ物がたくさんある群 (21.4%)

中学2年生 食に関する意識・行動

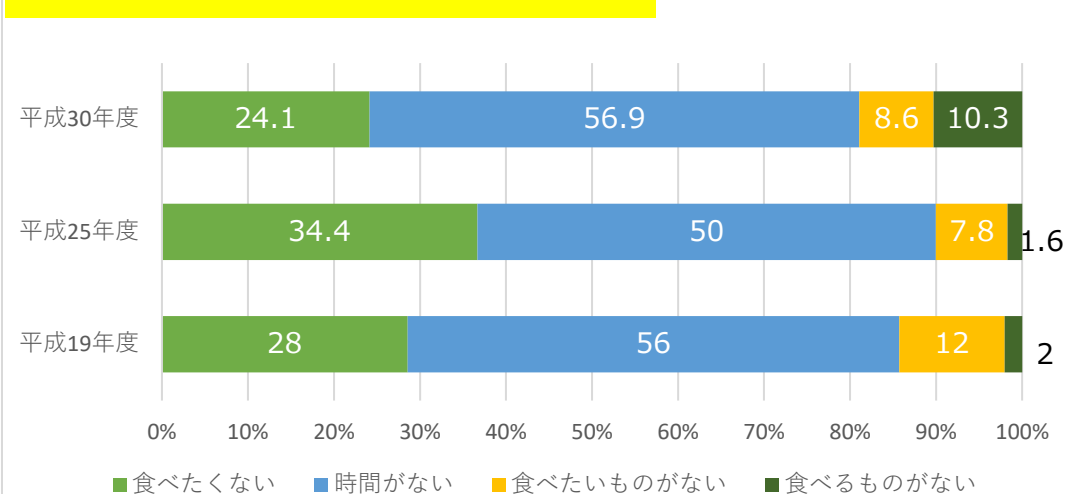
① 食育ということばを知っていますか？



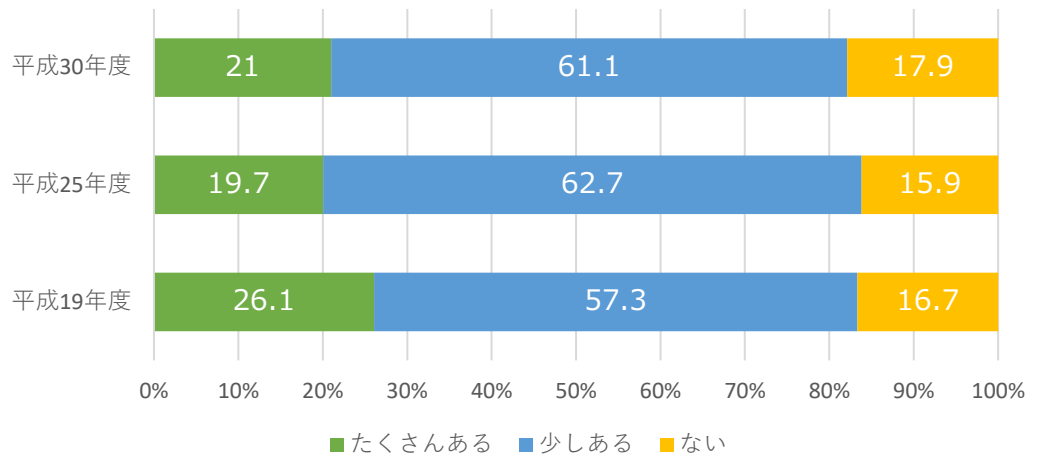
② 朝食をとっていますか？



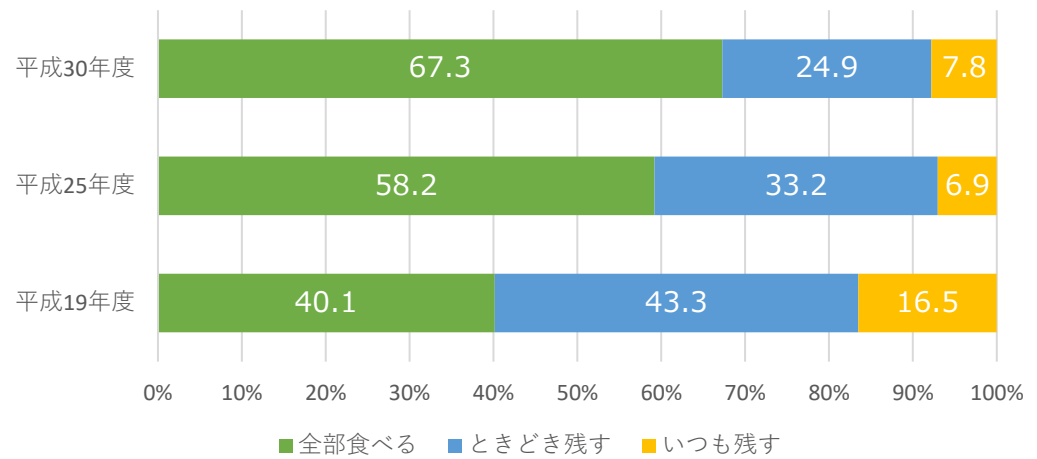
③ 朝食をとらない理由は何ですか？



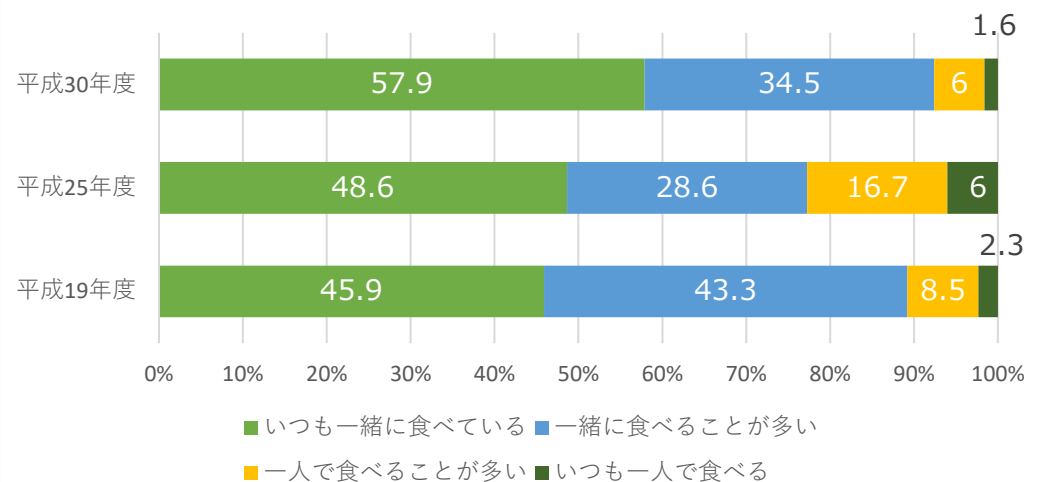
④ 嫌いな食べ物はありますか？



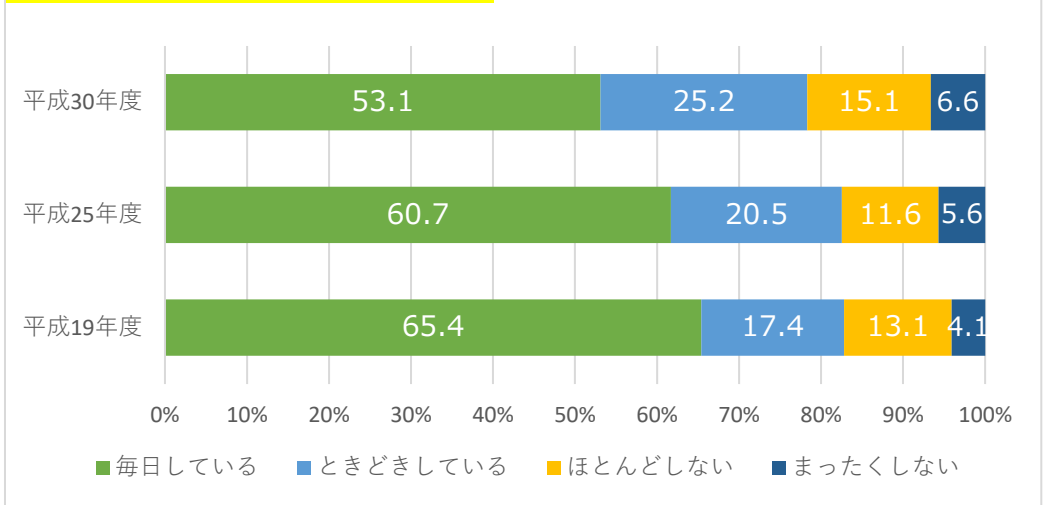
⑤ 給食は全部食べますか？



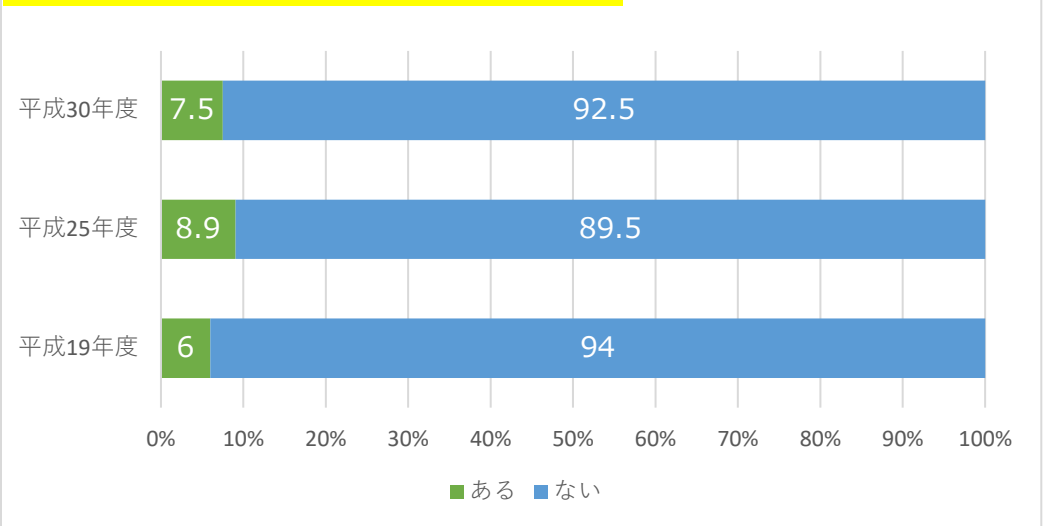
⑥ 家族の人と一緒に食事をとっていますか？



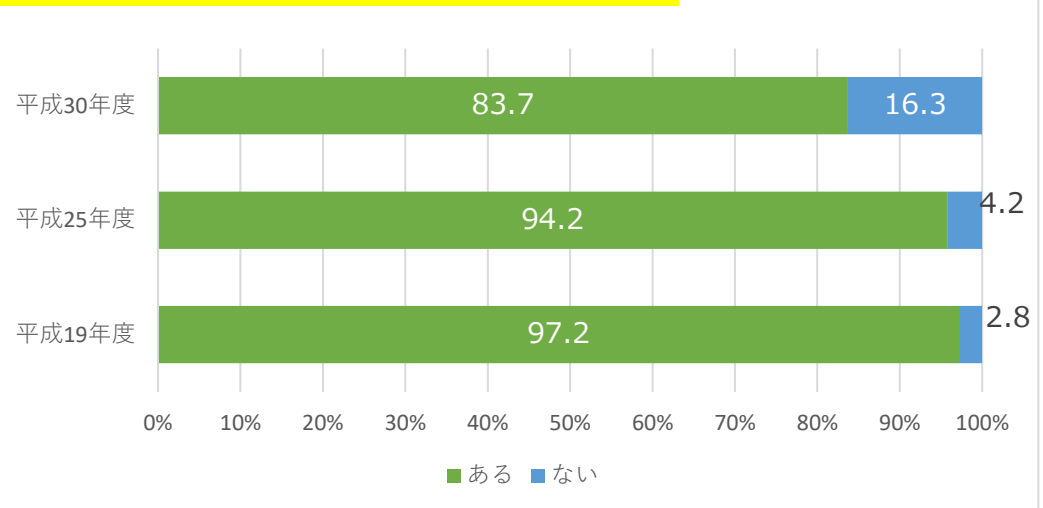
⑦ スポーツをしていますか？



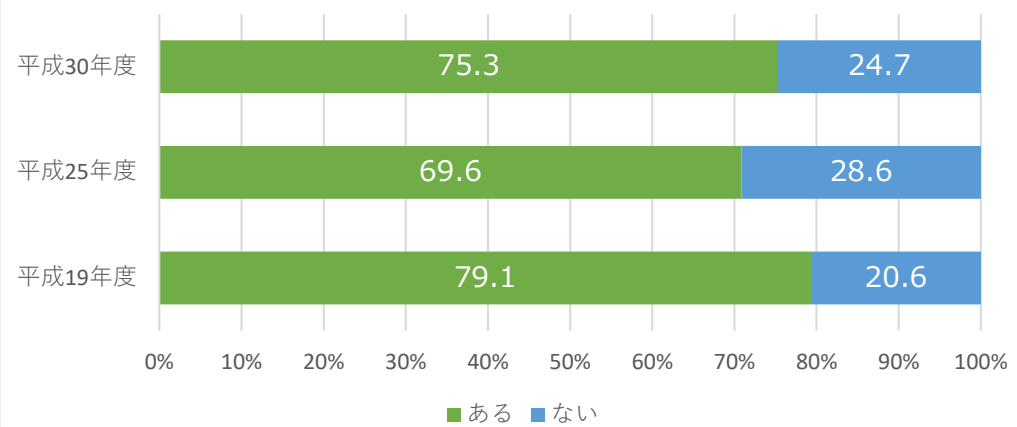
⑧ ダイエットを考えて、食事をとらないことがありますか？



⑨ 畑や田んぼで野菜や稲などが育っているのを見たことがありますか？

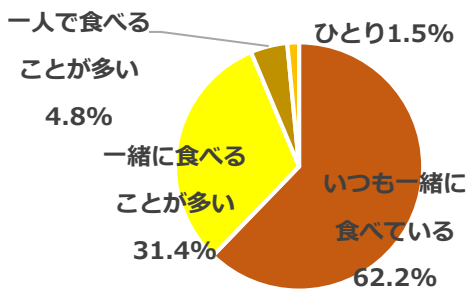


⑩ 田植えや稲刈り、いも堀りなどの、農作業の経験がありますか？

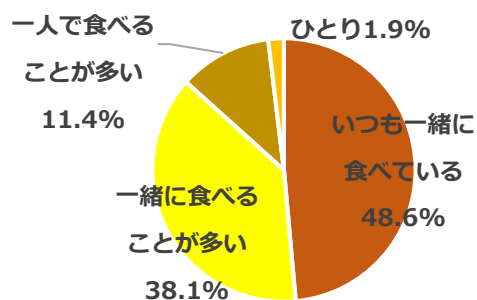


「食育ということばを知っている」 認識の違いと他項目との関係性

家族の人と一緒に食事をしていきますか？

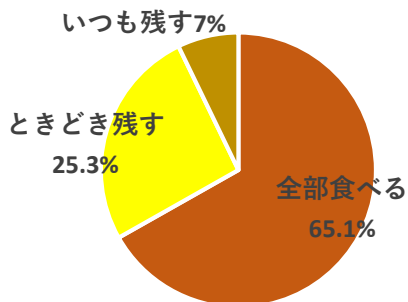


知っている群(81.3%)

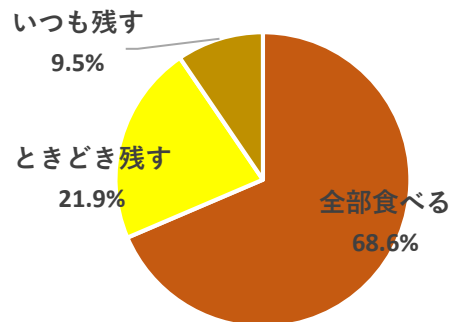


知らない群(18.7%)

給食は全部食べていますか？



知っている群(81.3%)



知らない群(18.7%)

3 寄せられた保護者のご意見

自由記述欄に書かれた保護者の方のご意見です。

園児保護者

- 子供と義父母に合わせた食事内容になりがちで肝心な主人(40代)の栄養面が心配。園児～高齢者のいる家庭は献立作りが大変。
- 味付けがワンパターンになってしまっている。いつも同じ野菜を買ってしまう。
- 給食は、残さず食べているみたいですが、家では好き嫌いばかり言ってほとんど食べてくれません。どうしてもおやつやジュースが多くなってしまふのが悩みです。
- 偏食がすごい。親の私自身も好き嫌いが激しい。共働きのために週2回は外食したり、毎食のものもほとんどレトルト品に頼る生活をしている。丁寧に作ることは労力があるのでなかなか手が回らない。
- 仕事で夕食の時間が、19:30頃になり年中の娘の就寝時間が21時なので食べてから寝るまでの時間が短いのが気になります。食べたがっているのをダメと言うのも気がひけますし野菜のみそ汁が大好きでおかわりしたがりですし……
- 少食のため、バランスには気を付けていますが少量でも、栄養価の高いものを…。とメニューに悩みます。歯の生え変わり時期で痛む(ぐらぐらして)らしく食べやすい物、奥歯では噛んで食べる物を毎日考えています。
- 給食について、メニューはバラエティにとんでいてありがたく思っています。原材料の農薬の有無や添加物の有無にこだわり、なるべく無農薬、添加物なしを目指していただき、それを開示していただくと嬉しいです。牛乳もノンホモジナイズと低温殺菌のものになることを願います。また、家庭での食事にかかる時間が長いことも悩みですので、食育時に、決まった時間内に食べることの大切さも指導して下さると嬉しいです。
- 自分たちで育てたものを使って、食事を作るなど色々な経験をさせてあげたいと思っているので保育園や小学校でもお願いしたいと思っています。保育園では、さつまいもパーティーやカレー作りなど子どもたちは大喜びしていました。自分たちで育てたものを食べるのはとてもいいと思います。

小学5年生保護者

- 常に食事の準備をする時には各自の好みを考えながら(食べてくれなければはじまらないので)バランスがとれるように調理するよう心がけていますが、毎日の献立を考えることは常に悩み続けています。カンタンで手に入る食材でよく食べてくれるレシピがもっと知りたいです。
- 中食・外食・冷凍食品に頼らず、手作りの食事を食べてもらいたいと思っていますが、時間がとれず作る事をあきらめています。手をかけず、美味しいと言ってもらえるレパートリーを増やしたいです。
- 体に良いものの判断基準が、分かりやすくなればと思っています。

- 成長期、食べ盛りの適量やメニューなどがよくわからないので、好きな物を多量に作るとバランスが偏ってしまうのでは？と思っています。
- 子供は、家では、好きなものしか食べないため、ほとんど野菜は食べれていない。また、食事もこだわりが強く毎食、食べたい料理しか食べないので、栄養面も偏っていると思うので悩んでいます。
- 子供の1食分の目安になるカロリーやたんぱく量、糖質の量などがよくわからないので知りたいです。子供はスポーツをしています。運動中、運動後の食事について量や内容(たんぱく多目とかビタミン何をとったら尚良いとかおすすめ)などあれば知りたいです。

中学2年生保護者

- 毎日午後7時～9時習い事をしているため井ものが多くなっています。野菜不足が悩みです。
- 栄養バランスや添加物等、普段から気にかけるようにしているが、子どもが自分でコンビニ等でお菓子やジュースを買って食べたりすることが気になる。
- 成長期＋スポーツをしている子の食事の栄養バランスが今の食生活で充分とれているのかわからず心配。(食が細い。)(好き嫌いが多い。)
- 中学校になってから、宿題や勉強で就寝時間が遅くなりがちで、朝なかなか起きられず、朝ごはんを食べる時間が短くなりがち。もっとゆっくり食べられる時間を確保したいのですが、なかなか難しいのが悩みです。

※主要施策別意見件数一覧表

主要施策	自由記入例	幼稚園・保育園 323件		小学校5年生 76件		中学校2年生 52件		合計 451件	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
家庭における食育の推進	偏食、不規則な食事など	138	42.7	23	30.3	12	23.1	173	38.4
学校、保育所等における食育の推進	給食、学校等との連携など	42	13.0	14	18.4	10	19.2	66	14.6
地域における食生活の改善のための取組の推進	献立の作り方指導、食事指導の仕方など	89	27.6	24	31.6	19	36.5	132	29.3
食育推進運動の推進	食育ってなに、バランスガイドについてなど	12	3.7	7	9.2	5	9.6	24	5.3
生産者と消費者との交流促進、環境と調和のとれた農業の活性化	地産地消、食への感謝など	21	6.5	4	5.3	3	5.8	28	6.2
食文化の継承のための活動への支援等	手作り料理の作り方、日本食のよさなど	6	1.9	1	1.3	1	1.9	8	1.8
食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進	賞味期限、原材料など	15	4.6	3	3.9	2	3.9	20	4.4

4 検証と課題

検証 1

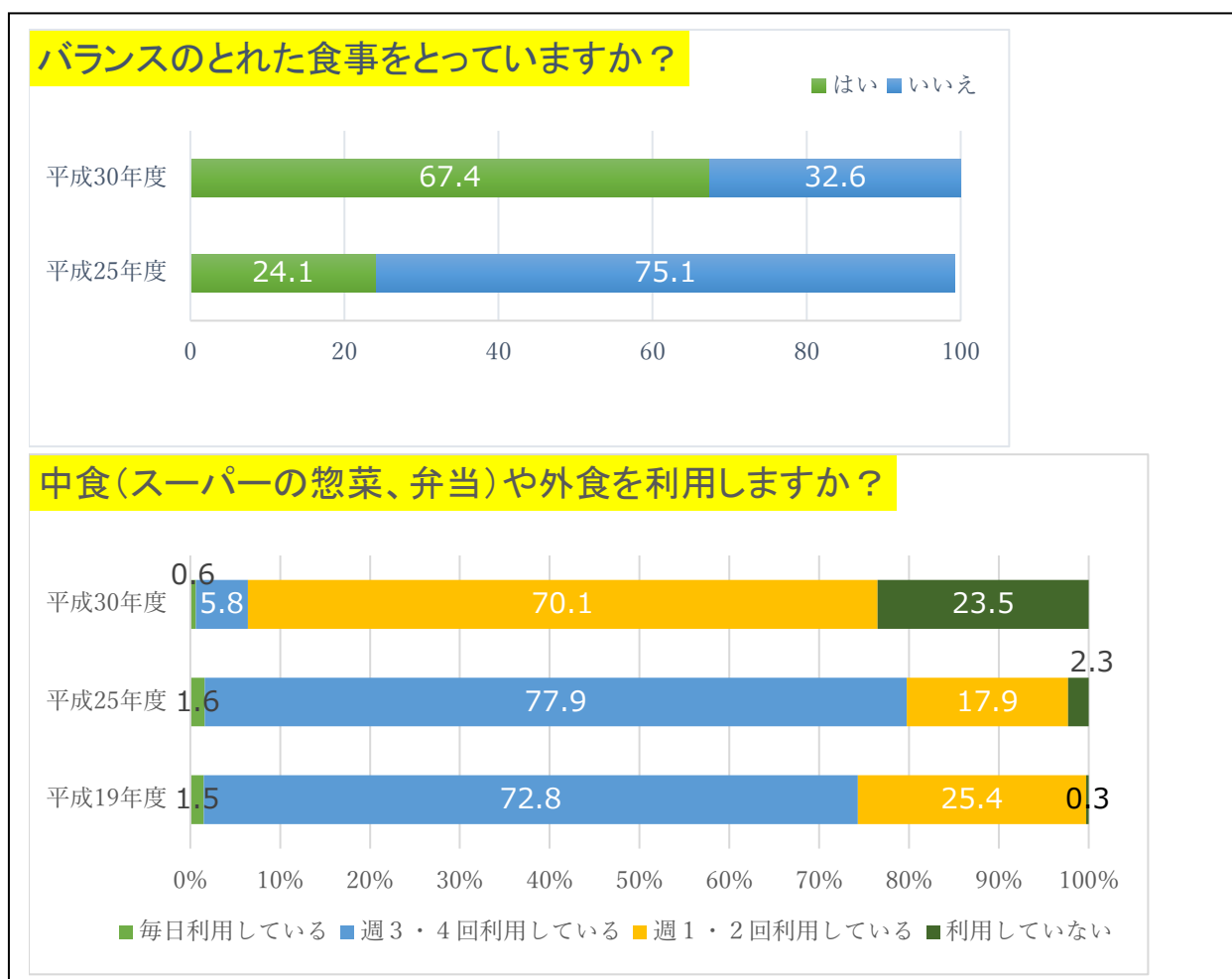
バランスのとれた食事をとっている人の割合が、飛躍的に増えました。

全体(幼・保・小・中)の67.4%の保護者の方が「バランスがとれた食事をとっている」と答えていました。前回調査の24.1%から大きく増えました。このことは幼児期、学童期、思春期の子どもがいる家庭でバランスが良い食事に留意する傾向が高まっていることがうかがえます。

また、惣菜や弁当を利用する家庭が少なくなり、「週1・2回」及び「利用しない」を合わせると93.6%となり、食材の購入・選択に大きな変化が見られました。

これらは近年、調理・料理に関する情報メディアが活発になり、食材や栄養に関する情報が得られやすくなってきていることや、冷凍やレンジ食材、調理パンなどの加工済食材等、家庭で活用しやすい食品が多様化していることが要因と考えられます。

その一方で加工品の表示を「必ず確認する」は減る傾向にあり、愛知県産を選んで「購入する」割合も減ってきています。



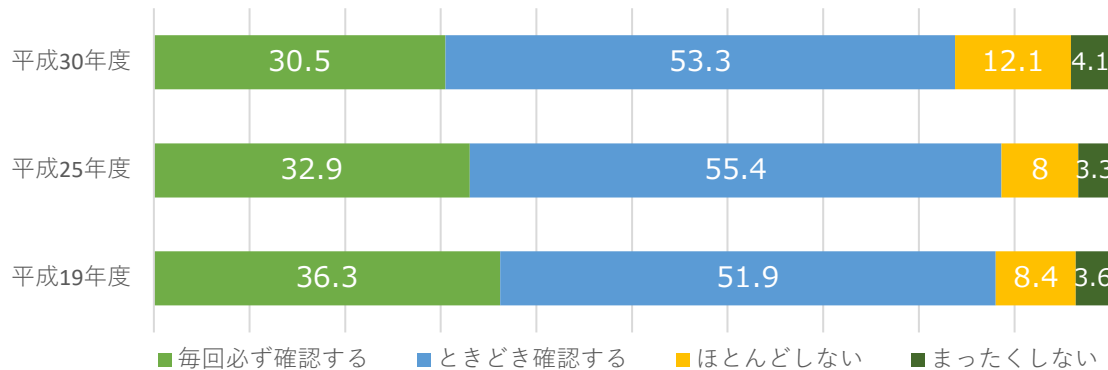
課題 1

食品表示をきちんと見る、地域のもを購入する等の行動を支援する効果的な情報提供が必要となっています

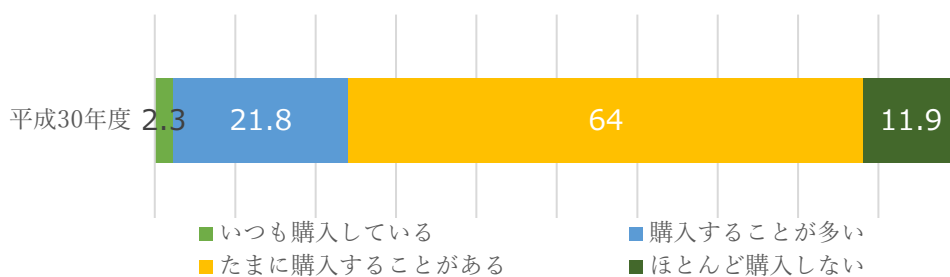
食品表示に関する情報が令和2年から新しいものにかわります。表示をみると、その加工品が何からつくられ、どれくらいカロリーがあり、どんな栄養素がふくまれているのかがわかるようになります。表示を読み取れるスキルが必要です。

また、地域でとれる野菜は、新鮮で安全、安心できることへの理解が深まり、関心が高くなっていることから、地場野菜の生産奨励や、産直施設の充実を図ることが必要です。そして、地場野菜の購入の機会や新たな調理方法等に関する情報を提案できる仕組み作りが必要です。

食料品を購入するとき、原産地表示や添加物、品質の表示を確認していますか？



愛知県の農産物を選んで購入していますか？



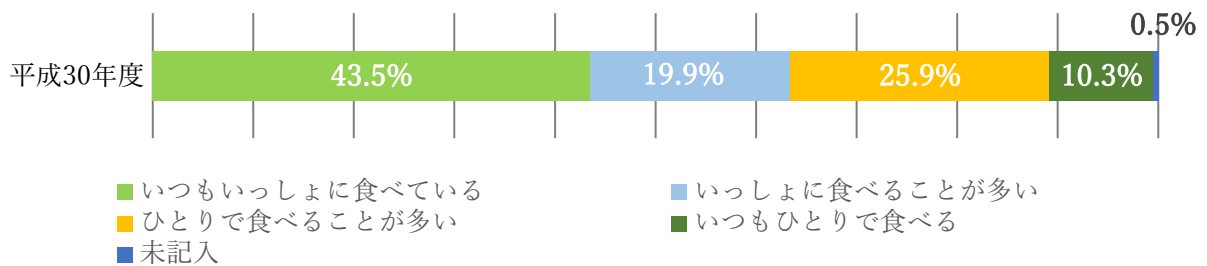
検証2

朝食の時、3人に1人は「一人で食べることが多い」ことがわかりました。
(小学5年生)

「一人が多い」「いつも一人」を合わせると36.2%となり、3人に1人はひとりだけで朝食をとる状況が見えてきました。多様なライフサイクルの中で、家族と一緒に食事をとる場面が減ってきていることは、食事の大切さや食を選択する能力について、大人からの伝達の機会が減ってきているといえます。また、中学生は「家族と一緒に食事をする」が増えていることから、小学生からの食育活動が活かされた成果であることも読み取れます。

一方、朝食を毎日とらない子どもは9%程みられ、食べない理由の多くは「時間がない」(49.1%)と答えています。また「食べたくない」(24.5%)子どもも見られました。いずれも生活サイクル・リズムが夜型へ移行しつつあることがうかがえます。

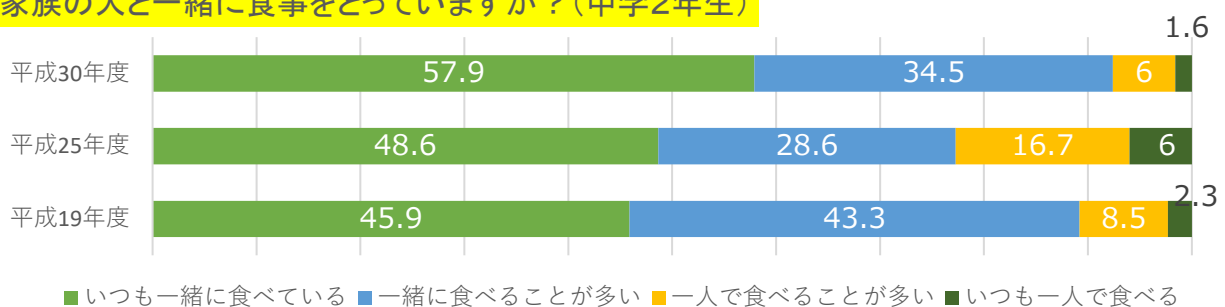
家族の人と一緒に朝食をとっていますか？ (小学5年生)



朝食をとらない理由 (小学5年生)



家族の人と一緒に食事をとっていますか？ (中学2年生)



課題 2

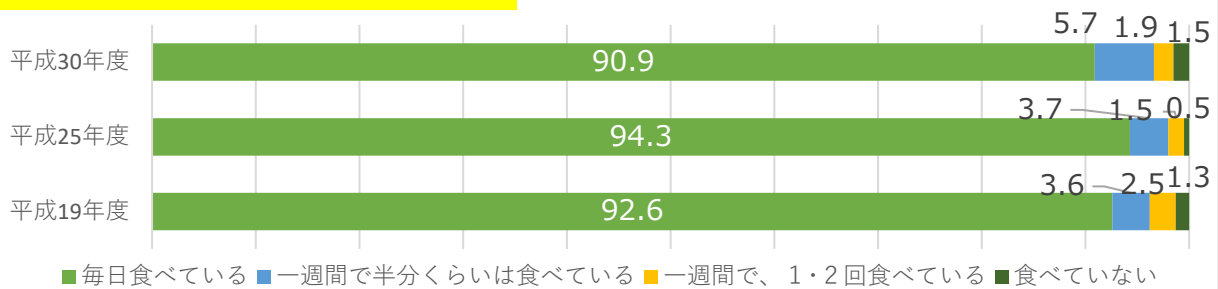
「毎日朝食をとる」「一緒に食事をする」ことへの理解を深める取り組みが、今後も継続的に必要となっています。

朝食は限られた時間の中で食べなければならないことから、内容、量、一緒に食べる人などに制限される場合があります。1日のスタートとなる朝食の役割について、継続的に啓発していくことが大切です。

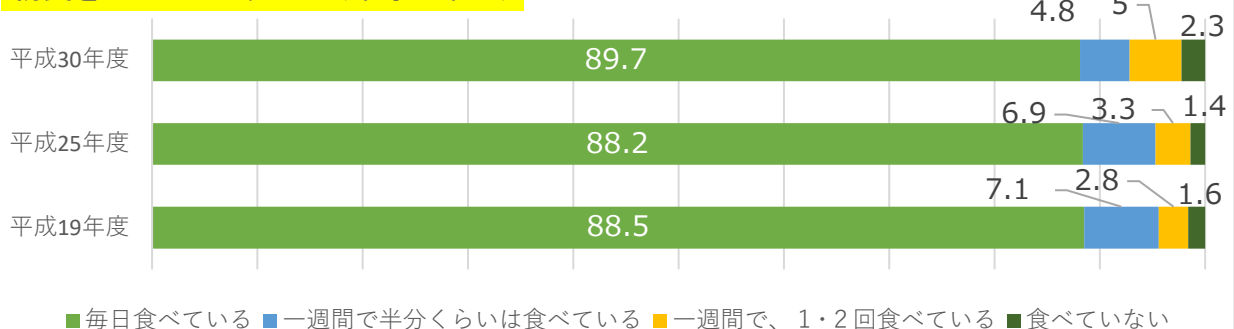
特に、子ども一人ではなく、家族のだれかと一緒に食べることができる工夫についても啓発していく必要があります。自由記述の欄のご意見からも支援の要望が多いことから、情報提供の在り方、連携のとり方なども視野に入れた、今後の食育の展開が望まれます。

- 幼稚園入園前、家では好き嫌いが多くて困っていましたが幼稚園の給食はおいしいようでよく食べているそうです。とってありがたいです。家でもたくさん食べられる工夫を知りたいです。
- 特に料理が得意という訳でないのでメニューが偏りがちで、同じような物ばかり食べさせているような気がします。一つの食材で様々な調理法など、教えて頂けるような所があると助かります。
- 子供と給食の話をしてても良く分からないので、レシピの公開や「給食メニューを作ろう」講座などがあると共有できて嬉しいです。

朝食をとっていますか？(小学5年生)



朝食をとっていますか？(中学2年生)



検証3

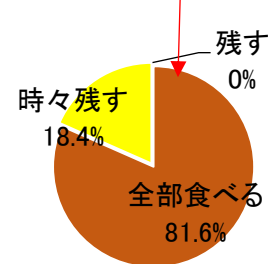
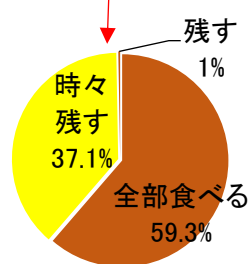
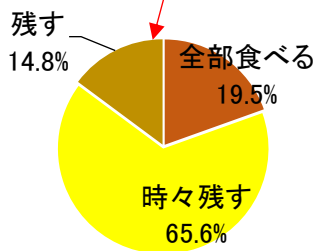
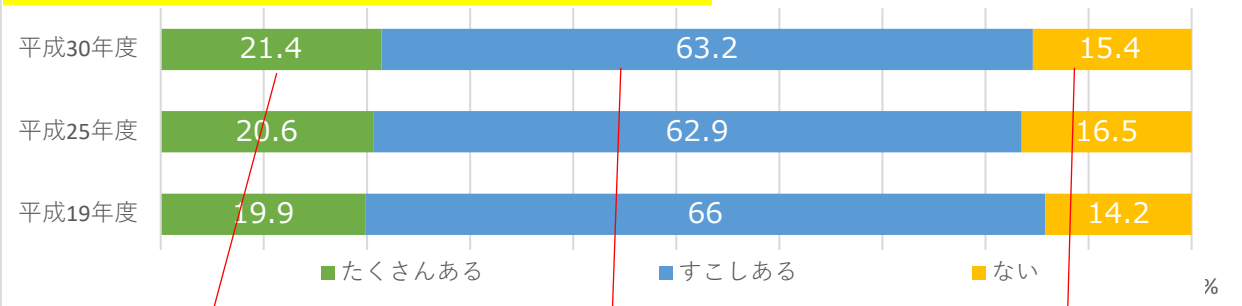
嫌いな食べ物がある子どもが増えてきて、給食で残すことも多いことがわかってきました。

嫌いなものが「たくさんある」小学生は 19.9%、20.6%、21.4%とすこしずつですが増えています。

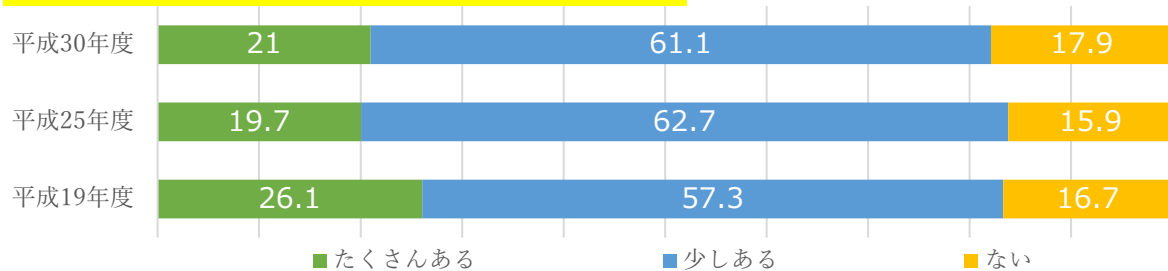
また、「嫌いなものがたくさんある」群では給食を「全部食べる」は 19.5%であり、「嫌いなものはない」群の 81.6%に比べ大きな差がみられます。この値は前回のときよりも差が大きくなっており、「残すこと」が増える傾向がうかがえます。

中学生においては、嫌いなものが「たくさんある」がわずかに増える傾向にあるものの、「全部食べる」割合が前回よりも多くなってきていることから、嫌いなものがあっても食べようとする意欲はあることがうかがえます。

きれいな食べ物はありますか？(小学5年生)



嫌いな食べ物はありますか？(中学2年生)

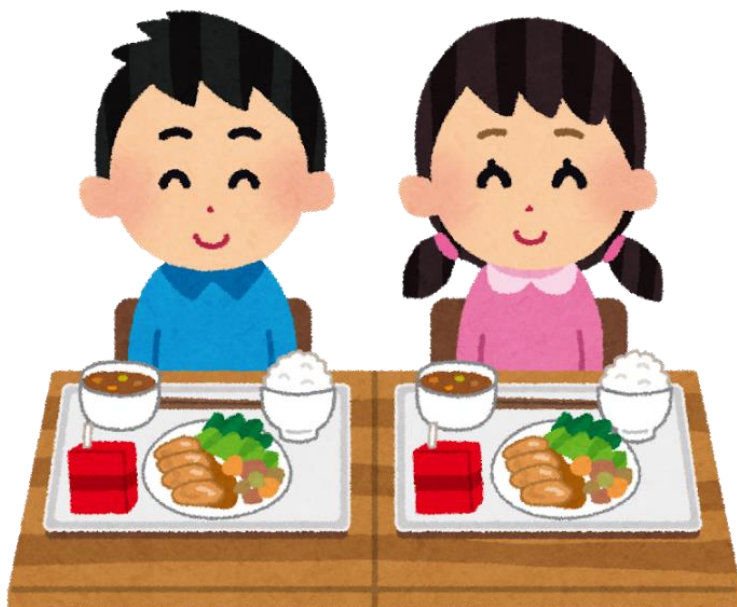


課題3

学校での食育には、給食の食べ残しを少なくする新たな取り組みが必要です。

食べ残しの問題は食べ物への感謝の心の育成や、栄養量の確保の問題から改善する必要があります。給食を残さず食べようとする態度や意欲は、給食の質の向上や食の知識の習得、食に関する感謝の心の醸成により高まるといわれ、特に集団活動の中の食事であることの特徴を活かした取り組みが求められています。

食材の特徴やおいしく作る工夫に関する情報提供など、発達段階やライフステージに応じた取り組みが必要です。



第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

本計画では、清須市第2次総合計画の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適で元気な都市」に向かって食からの実現を図るため、第3次食育推進計画の目標として、第2次清須市食育推進計画に引き続き「食をとおして、ふれあい、育みあう健康生活のまちづくり」を基本理念とします。

基本理念

「食をとおして、ふれあい、育みあう健康生活のまちづくり」

2 計画のめざす姿

清須市の食育は、市民一人ひとりが生涯にわたって健康で心豊かな生活を実現することができるよう、幼いころから食に関心を持ち、食の大切さを学び、食文化の理解を深め、自然の恵みや感謝の心を育むことを目的としています。

第2次食育推進計画実践にあたっては、食を軸とした企業や商店などつながっていく可能性もみえてきました。従来から進めてきた保育園、幼稚園、小中学校など子どもの食に関わる機関やボランティア団体、生産者、流通業者、消費者などとともに新たなつながりを模索する必要があります。

こうしたことから、第2次食育推進計画で掲げたタイトル「やってみよう清須のおいしい物語」を、第3次食育推進計画では「やってみよう」から次の段階の「つながってみよう」に改めることとします。そして、めざす姿については従来を踏襲し、

- ☆一人ひとりが食を正しく理解し、健康な生活を送る
 - ☆食を通してつながり、豊かな環境づくりに参加する
 - ☆地域の食を大切にし、伝えていく地域の輪をつくる
- とします。

第3次清須市食育推進計画のタイトル

「つながってみよう清須のおいしい物語」

めざす姿

- ☆一人ひとりが食を正しく理解し、健康な生活を送る
- ☆食を通してつながり、豊かな環境づくりに参加する
- ☆地域の食を大切にし、伝えていく地域の輪をつくる

3 取り組みの柱と基本施策

市では、第2次清須市食育推進計画策定後、5年間各種の施策に取り組んできました。しかし、平成30年6月に実施したアンケートの結果、めざす姿には至っておりません。

こうしたことから、第3次清須市食育推進計画の取り組みの柱は、これまでの柱を踏襲しつつこれらの結果からみえてきた課題の解決に向けて事業に取り組んでいきます。

取り組みの柱

1. 食をとおして心身の健康づくりをすすめる

- ①生まれる前からの食・成長期の食や健康を大切に作る環境をつくる。
- ②若年層からの生活習慣病予防に取り組む。
- ③主要栄養素の著しい不足や過剰摂取の予防に取り組む。
- ④朝食を軸とした望ましい生活リズムについて学べるようにする。
- ⑤食と健康の関係を正しく伝える環境をつくる。

2. 食をとおして感謝の心を育む

- ①「いただきます、ごちそうさま」の習慣を身につけ、感謝の心を育む。
- ②子どもたちから家族で食のマナー、日本の食の伝統・文化等について学べるようにする。
- ③子どもたちが農業体験等をとおして、自然の恵みに感謝する心を育むような機会を創出する。
- ④生産から食卓までの食に関わる人、物の交流の場をつくる。

3. 食をとおして地域づくりをすすめる

- ①地元でとれた野菜のよさを理解して積極的に利用できる場をつくる。
- ②子どもたちが、生産から食卓までの過程を知ることができる環境をつくる。
- ③共食をすることができる環境をつくる。
- ④地域で食育を推進するサポーターを養成する。
- ⑤生産者との交流による地域づくりを推進する。

4. 食をとおして適切な情報の活用の輪を広げる

- ①食品成分表示、食品衛生、食品ロスについて望ましい情報を提供する。
- ②地元野菜や郷土料理などの情報を発信する。
- ③市のホームページに色々な団体からの情報を含めながら食育の情報を発信する。

第4章 目標指標

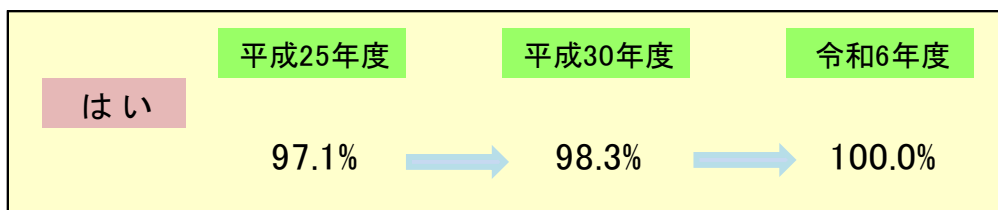
食育推進の目標

食育を具体的に進めるにあたって、市民のみなさんが食と健康の関係について十分に理解を深め、それぞれの役割と責務を認識して積極的に実践される目標を設定し、施策を展開していくことが大切です。

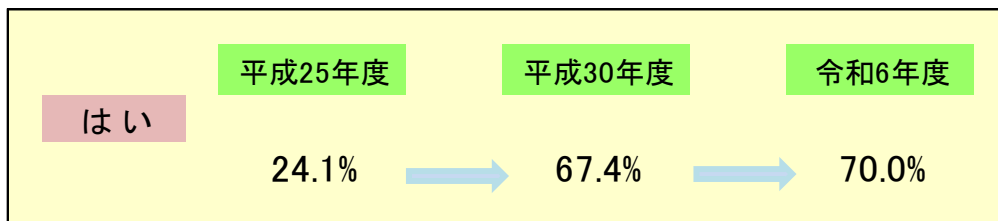
こうしたことから、平成30年6月に実施したアンケートの結果をふまえ、令和6年度までに次のとおり目標を設定し、成果や達成状況を客観的な指標により把握できるようにします。

1 市民全体(保護者全体)

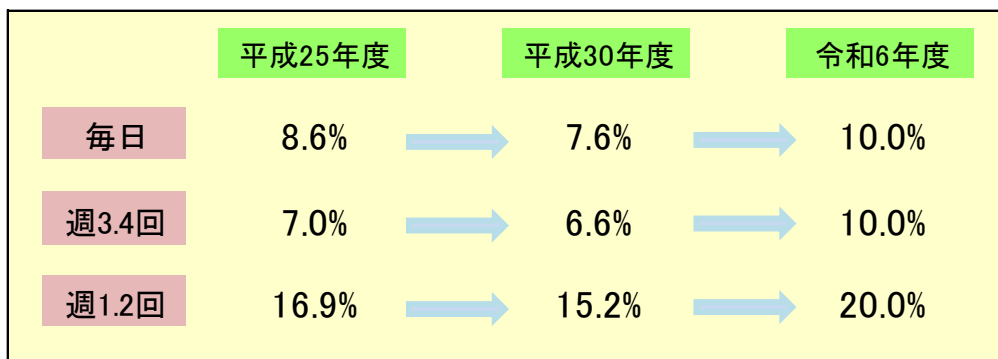
(1) 食育ということばを知っていますか？



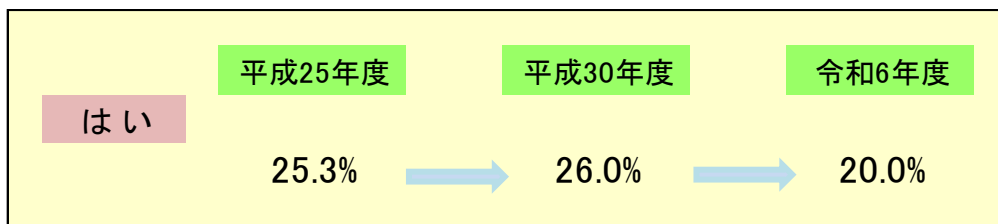
(2) バランスのとれた食事をとっていますか？



(3) 定期的に運動をしていますか？

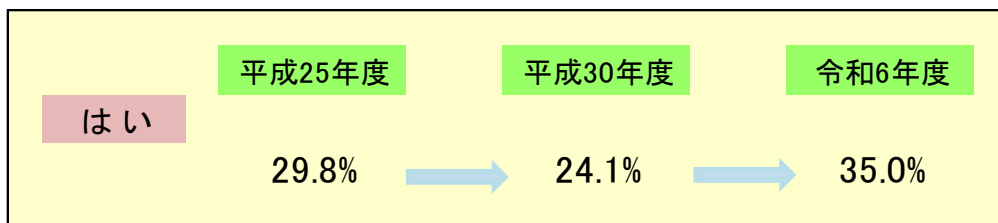


(4) 家族の中で朝食をとらない人はいますか？



(参考) 朝食の欠食割合 小学5年生 1.8%
中学2年生 4.6%
高校2年生 7.9%
男子大学生 18.7%
30歳代男性 9.4% (第3次愛知県食育推進計画より)

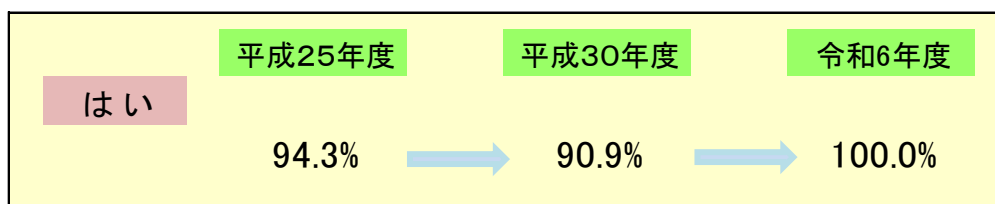
(5) 地産地消(愛知県産含む)の農産物を選んで購入していますか？



(参考) 学校給食において地域の産物を活用する割合 40.5%
(第3次愛知県食育推進計画より)

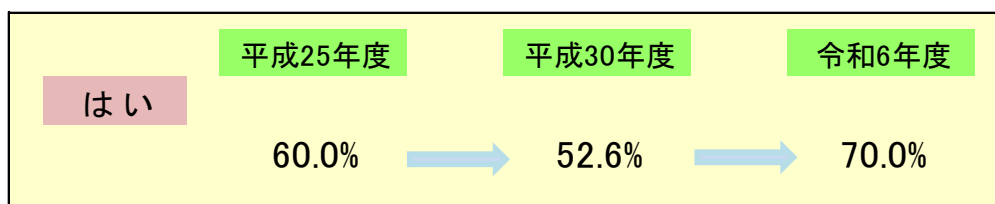
2 小学生

(1) 朝食を毎日とっていますか？

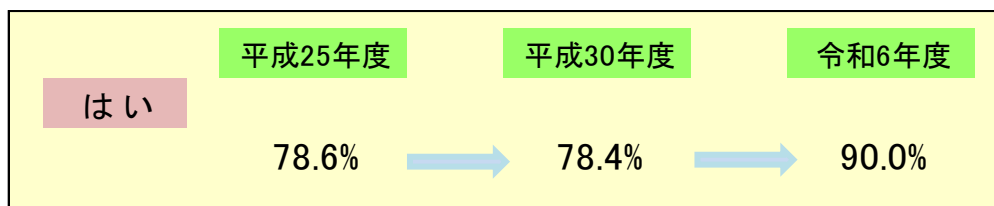


(参考) 朝食の欠食割合 (小学5年生) 1.8% (第3次愛知県食育推進計画より)

(2) 給食は全部食べますか？



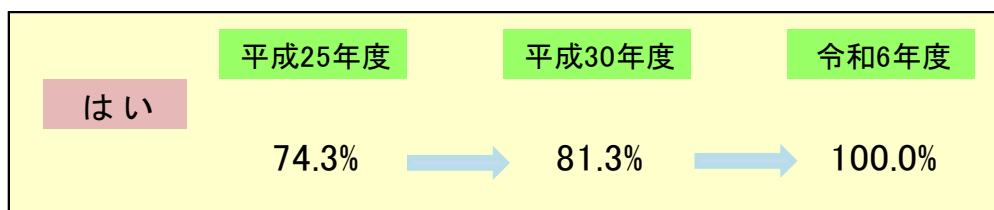
(3) 田植えや稲刈り、いも掘り等の農作業の経験がありますか？



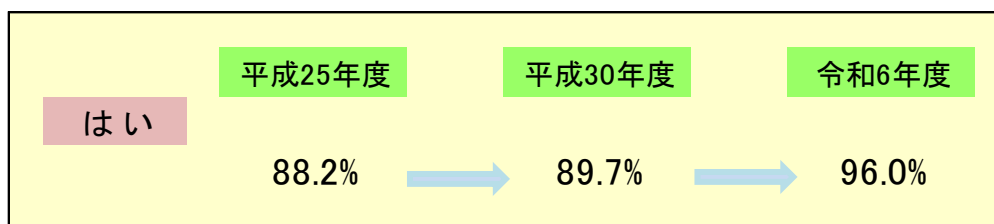
(参考) 農林漁業体験学習に取り組む小学校の割合 68.8% (第3次愛知県食育推進計画より)

3 中学生

(1) 食育ということばを知っていますか？

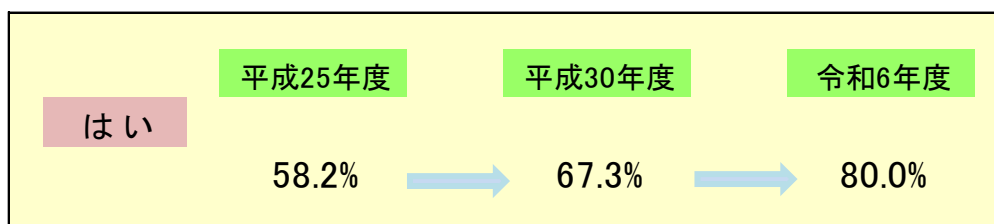


(2) 朝食を毎日とっていますか？

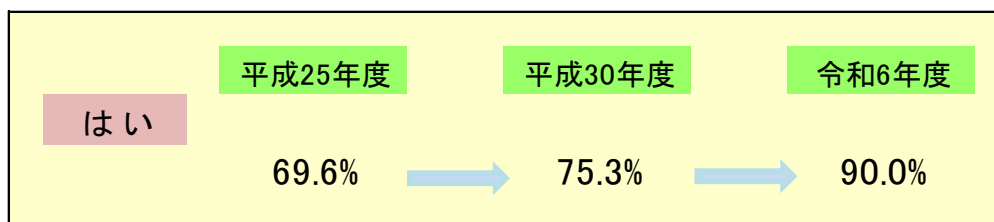


(参考) 朝食の欠食割合 4.6% (中学2年生) (第3次愛知県食育推進計画より)

(3) 給食は全部食べますか？



(4) 田植えや稲刈り、いも掘り等の農作業の経験がありますか？



(参考) 農林水産業に親しむ活動に参加する県民の割合 38.3% (第3次愛知県食育推進計画より)

第5章 食育推進に関する取り組み

市担当課、食育関係団体における食育に関する事業（平成31年度実施）

1 食をとおして心身の健康づくりをすすめる取り組み

名 称	対 象 者	内 容	関係部門
パパママ教室	妊婦とその夫、付き添い等	妊娠中及び産後の食生活について、試食とレシピの提供	健康推進課
乳幼児健診での栄養指導	健診対象者及び保護者	乳幼児及び保護者の望ましい食習慣について指導	
食事に関する講座	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターでの離乳食の進め方についての講座 ・ファミリーサポート会員向け子どもの食事、食物アレルギーの講座 ・子育て世代を支える祖母世代に対する子どもの食事についての講座 ・高齢者の介護予防のための食事の講座 	
栄養相談、食事なんでも相談	市民	食事に関する相談	
離乳食講習会	4か月から8か月頃の子どもを持つ母親及び父親等	離乳食についての説明と試食の提供	健康推進課 食生活改善推進協議会
しなやか血管づくり講座	市民	循環器疾患や糖尿病を予防するための運動や食事等について講座を実施	
食に関する指導	清須市内保育園児	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しく食事のできる雰囲気作りの実施 ・献立食材、旬の食材についてパネルシアター等の視覚的教材を利用しわかりやすく説明 	清須市保育園 学校給食センター

栄養バランスのとれた食事をしよう	春日中学校の生徒及び保護者 春日小学校とも連携	・栄養バランスチェックや講演会の実施 ・栄養バランスのとれた食事の呼びかけ実施	春日中学校 春日小学校
食育講話(給食開始時)	第1幼稚園3歳児保護者	幼稚園給食内容の説明と3歳児の食生活についての講話	学校給食センター
食育指導	清須市内各小中学校児童生徒	テーマ「野菜を食べることのよさを考えよう」清洲小学校他	学校給食センター
食育講話(給食試食会)	清須市内小中学校保護者	給食試食会時に食育講話を実施 古城小学校他	
給食献立の放送資料作成	西枇杷島中学校生徒 職員	給食委員が日々の給食時間に放送する献立についての資料作成	
男性のための健康講座・料理教室	市民	生活習慣病予防のための話と調理実習	食生活改善推進協議会

2 食をとおして感謝の心を育む取り組み

名称	対象者	内容	関係部門
サツマイモ苗植え・収穫体験	保育園園児(市内の保育園を毎年交代で)	保育園に近い畑において5月に苗植え、10月に収穫の体験	保育園 産業課 特産物振興委員会
宮重大根収穫体験	保育園園児(市内の保育園を毎年交代で)	宮重大根を農家の畑で収穫体験	保育園 子育て支援課 産業課
宮重大根栽培体験	春日小学校3年生	小学校校内畑にて宮重大根の種まきから収穫体験	春日宮重大根純種子保存会
土田かぼちゃ料理教室	中学校生徒(市内中学校を毎年交代で)	土田かぼちゃ(市特産野菜)の歴史を学ぶとともに調理実習を実施	特産物振興委員会 食生活改善推進協議会

親子料理教室	市内小学生親子	調理実習及び食育講和(年2回開催)	産業課
親子はじめての料理教室	市内小学生親子	台所育児講座及び調理実習	生涯学習課
農業体験塾	市民	1年を通して野菜の栽培について学ぶ(月2回 午前9時～)体験塾を実施	産業課 特産物振興委員会
レジャー農園の貸し出し	市民	土に親しみ、野菜作りを楽しむことができる貸し農園の実施	産業課

3 食をとおして地域づくりをすすめる取り組み

名 称	対 象 者	内 容	関係部門
特産野菜の給食提供	小学校児童・中学校生徒	土田かぼちゃ、宮重大根を給食メニューで提供	学校給食センター
地産地消料理教室	市民	農業体験塾で栽培した野菜を使った料理教室(年3回)	特産物振興委員会
地元産野菜、特産野菜を使った漬物作り、販売	市民一般	地元産野菜(かりもり)、特産野菜(宮重大根、土田かぼちゃ、だいこんきよす)を使って漬物をつくり市内朝市、イベントにて販売	西春日井生活改善実行グループ 西春日井農協
子ども食堂	市民	食事等を提供し、ボランティアを通じての地域交流を実施	子育て支援課
食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	食生活改善推進員定例会における出前講座の実施等	健康推進課

4 食をとおして適切な情報の活用の輪を広げる取り組み

名 称	対 象 者	内 容	関係部門
食育レポート	市民一般	清須市ホームページにて食育の情報を発信	産業課
給食だより	小・中・幼・保と保護者	月1回献立及びテーマに添った内容を掲載し配布	学校給食センター
献立集・朝食献立集	保育園児と保護者	給食のおすすめレシピや朝食献立のファイルを保育園で準備し、保護者は自由に閲覧する	学校給食センター 西春日井市町保育園栄

			養職員部会
ごみ減量の啓発活動	市民 食育まつり来場者	食育まつりでごみ減量化の体験、分別クイズを実施	ごみ減量化等推進委員会
食育まつり	市民 食育まつり来場者	・食育トーク「かしこく食べて食品ロス削減をめざそう！」の実施 ・宮重大根の味噌おでん無料配布 ・食育ブースの出展	産業課 食育関係団体
健康レシピ	市民	広報清須に『しょっかいさんおすすめ！健康レシピ』を毎月掲載	食生活改善推進協議会 健康推進課
食生活改善推進員の活動報告とレシピ掲示	清洲保健センターの利用者	食生活改善推進員の活動報告写真やレシピを掲示	食生活改善推進協議会
清須社協だより「てとて」にレシピ等の掲載	市民	清須市社会福祉協議会 清須社協だより「てとて」に資料やレシピを掲載	

第6章 清須市食育推進の環

清須市の食育は、「食をとおして、ふれあい、育みあう健康生活のまちづくり」の基本理念に基づいて進めています。市民一人ひとりが食育を推進していける行政の取り組みには、「食育の環」が重要になってきます。このことから、「つながる」を第3次食育推進計画の柱として進め豊かな自然、先人から育まれてきた文化、社会経済といった本市の食環境を生かしつつ清須市ならではの食育を推進していきます。

第3次清須市食育推進計画タイトル

つながってみよう清須のおいしい物語

